



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社  
コード番号 4547 URL <https://www.kissei.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 神澤 陸雄  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務管理部長 (氏名) 北原 孝秀 (TEL) 0263-25-9081  
四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月4日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	36,978	12.5	2,015	—	3,465	—	5,678	70.7
2023年3月期第2四半期	32,864	1.5	△625	—	308	△75.9	3,326	△41.3

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 9,608百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 26百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	123.66	—
2023年3月期第2四半期	72.13	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	231,879	201,628	86.5	4,380.55
2023年3月期	221,200	194,814	87.7	4,204.64

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 200,633百万円 2023年3月期 193,899百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2024年3月期	—	41.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	41.00	82.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,500	14.8	5,000	—	6,700	—	10,000	△5.0	226.68

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 2. 2023年5月8日の取締役会において、自己株式の取得について決議しました。2024年3月期の業績予想における「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しています。なお、当該自己株式の取得については添付資料11ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	49,311,185株	2023年3月期	51,811,185株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	3,510,249株	2023年3月期	5,695,618株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	45,922,634株	2023年3月期2Q	46,115,832株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算短信とあわせて当社ホームページに掲載しています。また2023年11月8日(水)に証券アナリスト・機関投資家向けに決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料につきましては、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11
3. その他	13
(1) 販売実績	13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における医薬品業界は、薬価制度改革をはじめとする医療費抑制策の一環として、昨年4月の薬価改定に続き、本年4月にも薬価の中間年改定が実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しています。また、情報サービス業界において旺盛なICT需要が継続する一方、建設請負業界、物品販売業界においては設備投資意欲に持ち直しの動きが見られるものの、円安や物価高騰の影響により足元の景気は個人消費を中心に力強さに欠け、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第2四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	増減率 (%)
売上高 (百万円)	32,864	36,978	12.5
営業利益又は 営業損失(△) (百万円)	△625	2,015	—
経常利益 (百万円)	308	3,465	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)	3,326	5,678	70.7

## ・売上高の状況

医薬品事業の売上高は、30,765百万円（前年同期比10.1%増）となりました。国内医薬品では、昨年度に新発売した潰瘍性大腸炎治療薬「カログラ錠」、顕微鏡的多発血管炎・多発血管炎性肉芽腫症治療薬「タブネオスカプセル」の伸長に加え、過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」、本年4月に新発売した慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬「タバリス錠」の売上、コ・プロモーションフィーなどが増加し、増収となりました。

情報サービス事業の売上高は4,133百万円（前年同期比23.9%増）、建設請負事業の売上高は1,663百万円（前年同期比33.0%増）、物品販売事業の売上高は416百万円（前年同期比25.1%増）となりました。

## ・利益の状況

利益面では、増収に加え、売上原価率の改善、研究開発費を主とした販売費及び一般管理費の減少などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、増益となりました。なお、営業外収益として有価証券売却益・評価益を、特別利益として投資有価証券売却益をそれぞれ計上しています。

## ・研究開発の状況

昨年9月に当社との共同開発先である丸石製薬株式会社より承認申請が行われた透析患者におけるそう痒症治療薬ジフェリケフェリン（一般名、開発番号：MR13A9）の製造販売承認を本年9月に取得したことから、薬価基準収載後に製品名「コルスバ静注透析用シリンジ17.5 $\mu$ g、25.0 $\mu$ g、35.0 $\mu$ g」として販売を開始するための準備を進めています。なお、脊髄小脳変性症治療薬ロパチレリン（一般名、開発番号：KPS-0373）については、本年7月に承認申請を一旦取り下げ、追加臨床試験の実施可能性を検討しています。

海外においては、子宮筋腫・子宮内膜症治療薬リンザゴリクス（一般名）について、従来からの発売スケジュールを見直し、子宮筋腫を適応症とする2024年度中の欧州における本剤の発売に向け、技術導出先であるセラメックス社（英国）により市場導入準備が進められています。

## (2) 財政状態に関する説明

## ・資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は231,879百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,679百万円増加しました。流動資産は現金及び預金、有価証券が減少しましたが、受取手形、売掛金及び契約資産、棚卸資産などが増加したことにより、5,228百万円増加し105,869百万円となりました。固定資産は投資有価証券の増加などにより、5,450百万円増加し126,009百万円となりました。

## ・負債の状況

当第2四半期連結会計期間末の負債は30,251百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,865百万円増加しました。流動負債は、契約負債などが減少しましたが、未払法人税等が増加したことなどにより、1,806百万円増加し16,763百万円となりました。固定負債は繰延税金負債の増加などにより2,059百万円増加し、13,487百万円となりました。

・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の純資産は201,628百万円となり、前連結会計年度に比べ6,814百万円増加しました。その他有価証券評価差額金が増加したほか、自己株式の取得と消却を行いました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の87.7%から86.5%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より1,632百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末では47,251百万円（前連結会計年度末比3.3%減）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、当第2四半期連結累計期間において2,333百万円の支出となりました。その他流動負債の増加などの収入増加要因がありました一方で、売上債権や棚卸資産の増加などが支出増加要因となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果得られた資金は、投資有価証券の売却による収入が増加したことに加え、長期前払費用の取得による支出が減少したことなどにより、前年同四半期に比べ717百万円増の3,653百万円となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、自己株式の取得や配当金の支払いなどにより、前年同四半期に比べ1,551百万円支出増の2,959百万円となりました。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

医薬品業界においては、薬価制度改革をはじめとする医療費抑制策の影響を受け、引き続き厳しい経営環境下にあります。また、当社を含む当グループ各社においても、円安や物価高騰の影響などにより、先行き不透明な業界環境が継続するものと予想されます。

現時点での2024年3月期の連結業績見通しは、以下のとおりです。

	2023年3月期 実績	2024年3月期 当初見通し	2024年3月期見通し (対当初見通し増減額)	対2023年3月期	
				増減額	増減率(%)
売上高(百万円)	67,493	74,500	77,500 (3,000)	10,007	14.8
営業利益又は営業損失 (△)(百万円)	△1,129	4,200	5,000 (800)	6,129	—
経常利益(百万円)	598	5,200	6,700 (1,500)	6,102	—
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	10,528	10,600	10,000 (△600)	△528	△5.0

・売上高

当初見通しより3,000百万円増額の77,500百万円（前年度比14.8%増）に修正します。

第2四半期連結累計期間の業績、ならびに現況を踏まえ、医薬品事業において2,500百万円の増額、情報サービス事業において500百万円の増額を見込みます。

・利益

第2四半期連結累計期間においては、当初計画と比べ、売上高の増加と売上原価率の改善などにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は当初見通しを上回りました。年度後半では、売上原価率の当初計画からの上昇に加え、販売費及び一般管理費の増加を見込んでいます。

通期の利益見通しについては、営業利益は当初見通しより800百万円増額の5,000百万円（前年度比—%）、経常利益は当初見通しより1,500百万円増額の6,700百万円（前年度比—%）、親会社株主に帰属する当期純利益は当初見通しより600百万円減額の10,000百万円（前年度比5.0%減）の見通しです。なお、年度後半の営業外損益ならびに特別損益においては、投資有価証券売却益として3,000百万円の特別利益を、東京都日本橋地区の再開発に伴う減損損失として200百万円の特別損失を、それぞれ見込んでいます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,893	24,234
受取手形、売掛金及び契約資産	22,780	27,064
有価証券	23,706	23,302
商品及び製品	12,679	13,843
仕掛品	129	103
原材料及び貯蔵品	9,990	10,635
その他	5,461	6,685
流動資産合計	100,641	105,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	39,026	38,905
減価償却累計額	△30,848	△30,833
建物及び構築物（純額）	8,177	8,072
土地	13,615	13,593
建設仮勘定	27	4
その他	16,116	16,237
減価償却累計額	△13,357	△13,632
その他（純額）	2,758	2,605
有形固定資産合計	24,579	24,276
無形固定資産	1,507	1,582
投資その他の資産		
投資有価証券	74,769	81,301
退職給付に係る資産	3,089	3,304
繰延税金資産	433	442
その他	16,198	15,121
貸倒引当金	△18	△18
投資その他の資産合計	94,472	100,151
固定資産合計	120,558	126,009
資産合計	221,200	231,879

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,617	4,705
短期借入金	1,490	1,390
未払法人税等	408	1,511
賞与引当金	1,670	1,833
その他の引当金	159	147
契約負債	1,846	1,734
その他	4,764	5,442
流動負債合計	14,957	16,763
固定負債		
繰延税金負債	10,426	12,527
役員退職慰労引当金	192	201
資産除去債務	139	142
その他	669	616
固定負債合計	11,428	13,487
負債合計	26,385	30,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,226	24,226
利益剰余金	125,576	123,705
自己株式	△12,912	△8,158
株主資本合計	161,246	164,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,393	34,381
退職給付に係る調整累計額	2,259	2,121
その他の包括利益累計額合計	32,653	36,503
非支配株主持分	914	995
純資産合計	194,814	201,628
負債純資産合計	221,200	231,879

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	32,864	36,978
売上原価	16,680	18,677
売上総利益	16,184	18,300
販売費及び一般管理費	16,810	16,284
営業利益又は営業損失(△)	△625	2,015
営業外収益		
受取利息	10	20
受取配当金	731	707
有価証券売却益	50	540
有価証券評価益	21	205
その他	163	57
営業外収益合計	977	1,531
営業外費用		
支払利息	10	9
為替差損	—	31
貸倒引当金繰入額	15	—
その他	17	41
営業外費用合計	43	81
経常利益	308	3,465
特別利益		
固定資産売却益	—	12
投資有価証券売却益	4,111	4,042
特別利益合計	4,111	4,054
特別損失		
固定資産処分損	2	16
投資有価証券売却損	0	—
投資有価証券評価損	—	1
特別損失合計	2	17
税金等調整前四半期純利益	4,418	7,502
法人税、住民税及び事業税	629	1,334
法人税等調整額	420	411
法人税等合計	1,049	1,745
四半期純利益	3,368	5,757
非支配株主に帰属する四半期純利益	42	78
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,326	5,678



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	3,368	5,757
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,183	3,991
退職給付に係る調整額	△158	△140
その他の包括利益合計	△3,342	3,851
四半期包括利益	26	9,608
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△15	9,528
非支配株主に係る四半期包括利益	42	80

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,418	7,502
減価償却費	1,994	2,049
引当金の増減額 (△は減少)	122	159
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△442	△416
受取利息及び受取配当金	△742	△728
支払利息	10	9
有価証券売却損益 (△は益)	△50	△540
有価証券評価損益 (△は益)	△21	△205
固定資産売却損益 (△は益)	—	△12
固定資産処分損	2	16
投資有価証券売却損益 (△は益)	△4,111	△4,042
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	1
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	408	△4,284
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,009	△1,784
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△1,643	△738
仕入債務の増減額 (△は減少)	948	87
契約負債の増減額 (△は減少)	△141	△112
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△59	1,022
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△4	1
その他	△12	△497
小計	△335	△2,511
利息及び配当金の受取額	681	674
利息の支払額	△10	△9
法人税等の支払額	△3,493	△486
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,158	△2,333
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△38	△24
定期預金の払戻による収入	42	50
特定金銭信託の払戻による収入	888	311
有形固定資産の取得による支出	△624	△553
有形固定資産の売却による収入	—	58
無形固定資産の取得による支出	△284	△304
投資有価証券の取得による支出	△392	△1,950
投資有価証券の売却及び償還による収入	4,332	6,099
貸付けによる支出	△5	△3
貸付金の回収による収入	8	3
長期前払費用の取得による支出	△1,002	△1
その他	11	△32
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,936	3,653

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△50	△100
リース債務の返済による支出	△66	△64
配当金の支払額	△1,291	△1,844
自己株式の取得による支出	—	△949
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,407	△2,959
現金及び現金同等物に係る換算差額	8	5
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,620	△1,632
現金及び現金同等物の期首残高	53,004	48,884
現金及び現金同等物の四半期末残高	51,383	47,251

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式314,600株を949百万円で取得しました。また、2023年6月12日付で自己株式2,500,000株、5,704百万円の消却を実施しました。この結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金が5,704百万円、自己株式が4,754百万円それぞれ減少し、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が123,705百万円、自己株式が8,158百万円となりました。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品	情報サービス	建設請負	物品販売	
売上高					
医薬品事業					
医薬品販売	23,550	—	—	—	23,550
ヘルスケア食品販売	1,766	—	—	—	1,766
技術料	220	—	—	—	220
その他	2,410	—	—	—	2,410
情報サービス事業	—	4,456	—	—	4,456
建設請負事業	—	—	1,716	—	1,716
物品販売事業	—	—	—	452	452
顧客との契約から生じる収益	27,946	4,456	1,716	452	34,572
外部顧客への売上高	27,946	3,335	1,250	332	32,864
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	1,120	466	119	1,707
計	27,946	4,456	1,716	452	34,572
セグメント利益又は損失(△)	△1,108	370	36	20	△681

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△681
セグメント間取引消去	58
固定資産の調整額	1
その他の調整額	△3
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△625

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	医薬品	情報サービス	建設請負	物品販売	
売上高					
医薬品事業					
医薬品販売	26,420	—	—	—	26,420
ヘルスケア食品販売	1,763	—	—	—	1,763
技術料	171	—	—	—	171
その他	2,410	—	—	—	2,410
情報サービス事業	—	5,074	—	—	5,074
建設請負事業	—	—	2,365	—	2,365
物品販売事業	—	—	—	524	524
顧客との契約から生じる収益	30,765	5,074	2,365	524	38,729
外部顧客への売上高	30,765	4,133	1,663	416	36,978
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	941	702	108	1,751
計	30,765	5,074	2,365	524	38,729
セグメント利益	1,128	663	127	45	1,965

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,965
セグメント間取引消去	34
固定資産の調整額	△7
その他の調整額	23
四半期連結損益計算書の営業利益	2,015

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2023年11月6日開催の取締役会において、2023年5月8日開催の取締役会で決議した、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得について、自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による具体的な取得方法を決定しました。

1. 取得の方法

2023年11月6日の終値(最終特別気配を含む)3,160円で、2023年11月7日午前8時45分の東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)において買付の委託を行う(その他の取引制度や取引時間への変更は行わない)。当該買付注文は当該取引時間限りの注文とする。

2. 取得に係る事項の内容

- |                |   |
|----------------|---|
| (1) 取得する株式の種類  | 当社普通株式  |
| (2) 取得する株式の総数  | 1,200,000株(上限)<br>(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合2.62%) |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 3,792,000,000円(上限)                              |
| (4) 取得結果の公表    | 2023年11月7日午前8時45分の取引終了後                         |

(注1) 当該株数の変更は行わない。なお、市場動向等により、一部または全部の取得が行われない場合もある。

(注2) 取得予定株式数に対当する売付注文をもって買付を行う。

(ご参考)

1. 2023年5月8日開催の取締役会での決議内容

- |                |   |
|----------------|---|
| (1) 取得する株式の種類  | 当社普通株式  |
| (2) 取得する株式の総数  | 2,000,000株(上限)<br>(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合4.34%)                                 |
| (3) 株式の取得価額の総額 | 6,000,000,000円(上限)  |
| (4) 取得期間       | 2023年5月10日～2024年3月29日   |
| (5) 取得方法       | 東京証券取引所における市場買付<br>① 自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による市場買付<br>② 自己株式取得に係る取引一任契約に基づく市場買付 |

2. 2023年5月8日開催の取締役会決議に基づき取得した自己株式の累計(2023年11月6日現在)

- |             |              |
|-------------|--------------|
| ・ 取得した株式の総数 | 314,600株     |
| ・ 取得価格の総額   | 949,813,800円 |

3. 2023年10月31日時点の自己株式の保有状況

- |                    |             |
|--------------------|-------------|
| ・ 発行済株式総数(自己株式を除く) | 45,800,913株 |
| ・ 自己株式数            | 3,510,272株  |

## 3. その他

## (1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業	27,946	85.0	30,765	83.2	2,818	10.1
泌尿器科用薬剤	8,407	25.6	10,160	27.5	1,753	20.9
腎・透析科用薬剤	7,088	21.6	6,330	17.1	△757	△10.7
希少疾病用薬剤	243	0.7	2,500	6.8	2,256	924.9
代謝内分泌科用薬剤	3,294	10.0	2,941	8.0	△352	△10.7
産婦人科用薬剤	444	1.4	360	1.0	△83	△18.9
眼科用薬剤	232	0.7	176	0.5	△55	△23.9
その他の薬剤	3,840	11.7	3,949	10.7	108	2.8
ヘルスケア食品	1,766	5.4	1,763	4.8	△2	△0.1
技術料	220	0.7	171	0.5	△48	△22.2
その他	2,410	7.3	2,410	6.5	0	0.0
情報サービス事業	3,335	10.1	4,133	11.2	797	23.9
建設請負事業	1,250	3.8	1,663	4.5	412	33.0
物品販売事業	332	1.0	416	1.1	83	25.1
合計	32,864	100.0	36,978	100.0	4,113	12.5
(うち輸出高)	(2,407)	(7.3)	(2,268)	(6.1)	(△138)	(△5.8)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しています。